

授業科目名	日本語学（2）	単位数	2単位
担当教員名	乾 浩	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場 合)			
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 （1）日本語の「文字表記・語彙」について理解する。 （2）外国語として日本語を捉え、客観的に日本語を見直す視点を養う。 （3）自分の言語生活を内省する能力を育成する。			
授業の概要 この授業では『日本語教育』で学修した知識を前提に「文字表記・語彙」について、更に深く学ぶことを目的とする。外国語としての日本語を客観的に見つめ、日本語学習者に日本語を教える際に必要な日本語の中で「文字表記・語彙」の知識を幅広い面から考察していく。			
授業計画 第1回：第4章「文字・表記」 1. 常用漢字表について 2. 漢字の筆順 第2回：第4章「文字・表記」 3. 送り仮名の付け方 第3回：第4章「文字・表記」 4. 現代仮名遣い 第4回：第4章「文字・表記」 5. 外来語の表記 第5回：第4章「文字・表記」 6. ローマ字の表記 第6回：第4章「文字・表記」 7. くぎり符号、くり返し符号、横書きの書き方など 第7回：第4章「文字・表記」日本語の文字の歴史 1 表意文字・表音文字、漢字の伝来 第8回：第4章「文字・表記」日本語の文字の歴史 2 万葉仮名・平仮名・片仮名、ローマ字 第9回：第4章「文字・表記」日本語の文字の歴史 3 六書 第10回：第4章「文字・表記」日本語の文字の歴史 4 国字、新字体と旧字体、活字体 第11回：第5章「語彙」 1. 語彙と語の違い 2. 語種 第12回：第5章「語彙」 3. 語構成 第13回：第5章「語彙」 4. 語彙の体系 第14回：第5章「語彙」 5. 語を数える 第15回：第5章「語彙」 6. 位相			
スクーリングでの学修 「常用漢字表について」「送り仮名の付け方」「日本語の文字の歴史」を中心に復習する。			
テキスト 高見澤孟（2016）『増補改訂版 新・はじめての日本語教育1』アスク、978-4872179934			
参考書・参考資料等 必要に応じて適宜紹介する。			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			